

おれんじニュース

No268

2012年7月号



6月8日オレンジHCメンバーは佐渡へ佐渡へとなびいたのだった。大野亀のカンゾウ
写真提供・中里氏

★ 会員一人一人が運営委員です。みんなでオレンジHCの運営に参加しましょう。

★集会・委員会のお知らせ★ 山行の一步は集会参加から				
	2012/7月	2012/8月	時 間	場 所
運営委員会	11日(水)	8日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館
ひまわり集会	6日(木)	3日(金)山行時	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	25日(水)	22日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館





7月山行計画

部	山行部	ひまわり山行部	技術研修部	技術研修部
月・日	7日(土)	13日(金)	15日(日)	28日(土)
山名 (行事)	浅間山 (831.5m)	琴平岳(334m) 鳥甲山(769m)	夜峰山(912.9m) お竈門山(1152.5m)	井原山 982.4m (洗い谷ルート)
地図	英彦山	多良岳	阿蘇山	雷山・脊振山
集合時間	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 8:00 西諫早駅 8:10	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10
難易度	初級	少し健脚	体力1 危険度2	初級～中級
帰着時間	18:00頃	17:00頃	19:00頃	17:20頃
歩行時間	3h	4h	3h	4h
交通手段	マイクロバス	マイカー	マイクロバス	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温泉	有り(福祉センター)		垂玉温泉	時間次第で
参加費	5000円	1500円	5000円	3500円
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第
集約	田中	林	佐原	佐原
備考	濃密な自然が残された奥山	琴平の後南河内に移動して登ります	名の有る山に囲まれて目立たないけど魅力ある山。	背振山地の第2の高峰へ洗い谷から望みます。
感想文提出	7/17	7/23	7/25	8/8

技術研修部より

6月30日(土) セルフレスキュー (JR西諫早駅9:30集合)

7月以降の沢登り

7月21日(土) 滝沢谷 (佐賀県三瀬) (JR西諫早駅9:30集合)

7月28日(土) 洗谷から井原山登山 少し沢登り (JR諫早駅裏7:00
JR西諫早駅7:10集合)

夏のアルプスに向けての訓練

7月11日(水) 黒木、五ヶ原、金泉寺 西諫早駅8:00

7月19日(木) 黒木、経ヶ岳、金泉寺 西諫早駅8:00



8月山行計画

部	ひまわり山行部	技術研修部	山行部
月・日	8月3日(金)	8/4~8/8	8月19日(日)
山名 (行事)	多良岳	白峰三山北岳、間ノ岳、農鳥岳	金山(967.2m) 獵師岩山(893.4m)
地図	多良岳		脊振山
集合時間	西諫早駅 8:00	諫早高速バス乗り場 17:40	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難易度	初級	中級健脚	初級
帰着時間	15:00	8/8	18:00
歩行時間	2.5h	8/5(8h) 8/6(9h)	4h
交通手段	マイカー	往復夜行バス	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	バス2泊 山小屋3泊	日帰り
温泉			有り
参加費	1000円	80000円位	4000円
申込期限	定員になり次第	7/10	定員になり次第
集約	林	佐原	田中
備考	オオキツネノカミソリの見頃です	鳳凰三山から眺めた日本第2の山へ登ります。	豊富な沢水に彩られた登山道 花乱の滝から登る
感想文提出	8/13	8/18	8/29

2012年 国民平和行進長崎県コース

月日	6/28(木)	6/29(金)	6/30(土)	7/1(日)	7/2(月)	7/3(火)	7/4(水)	7/5(木)
コース	平和祈念像 (13:00)~ 蛍茶屋 (17:00)	蛍茶屋 (9:10)~ 西諫早駅 (17:10)	西諫早駅 (9:10)~ 大村市役 所 (15:30)	大村市役 所(9:00) ~東彼杵 駅前 (16:20)	東彼杵駅 前(9:00) ~ハウス テンボス 駅 (15:40)	ハウステ ンボス駅 (9:30)~ 佐世保駅 前(16:00)	佐世保駅 前(9:30) ~ 四ヶ町・ 戸の尾公 園 (12:10)	早岐駅前 (9:30)~ 三川内陶器 組合前 (12:40) 引き継ぎ

* オレンジハイキングクラブは6月30日(土)西諫早駅から大村市役所まで歩く予定です。

2012年5月/6月の山行報



4月20日(金)

天草山行き

(参加者)佐原、小山、林田、林、森、坂本、兵庫、福岡、山本、山口、金丸(直)、江崎(外)
(感想)久しぶりの山行き、おまけにはじめての天草。西諫早を7時10分出発、その後、諫早ロータリー、小浜を経て島原・口之津港へ。しばらく待ち時間がありフェリーで天草・鬼池港へ。

お天気も良く、車窓からは木々の新緑の美しい事、バスは角山登山口に10時05分着。

いつもの体操で身体をほぐして出発、山の中はとても歩きやすく30分(?)余りで頂上に着いた。景色も良く休み、12時10分下山。田植えは済んでいるようだったが、レンゲ草の花がたくさん咲いている田んぼも多く、芝桜、菜の花等々春の花が見られ、途中、案山子がいろいろな姿で立っていて、バスの中はそれを見て、とても賑やかになりました。



バスの中から、こんもりと盛り上がった姿の良い山の説明を聞いているうちに、崎津の天主堂へ着いた。ステンドグラスの美しい教会を見たあと、椅子・テーブルのある広場で海を



見ながら遅い昼食(13時)、30分ほどで出発、天草ロザリオ館の前を通り、大江カトリック教会へ。ここでみかん竹の子等を買う人もあり、13時50分、ここから見えた荒尾山へ出発、展望台のすぐ下までバスが登り、少々あっけない気もしたが景色は抜群に良く、長崎半島が少し霞んで見えた。

時間の事もあって左手に海を見ながら温泉へ直行のはずが、お休みらしいとの事でパスして鬼池港へ向かい、16時のフェリーで口之津へ。帰りの温泉は小浜の望洋荘と決まり、ゆっくり汗を流して、あとは諫早へと帰路に着きました。低山でも天草の山はとても良い山でした。同行のみなさんお世話になりました。(山本久美子 記)

5月13日(日)

可也山(365m)・二丈岳(711m)十坊山は登らず

<参加者> 坂口 福岡 鎗水 松園 田中(静) 中里 下釜 山口 高森 国分
川原 山下 林田 中須賀 田中(紘) 15名

<行程> 諫早～多久～師吉公民館～可也山登山口発 9:35～頂上着/発 10:35/10:50～登山口着 11:35～昼食・休憩後出発 13:10～バス移動～キャンプ場着/発 14:00/14:05～二丈岳頂上着/発 15:00/15:10～真名子着/発 15:40/15:50～バス移動・「まむし温泉」にて入浴～多久～諫早着 19時

<感想> とにかく自分の体力・脚力の低下を思い知らされた一日であった。これからは、しっかり訓練してから参加すべし、と強くおもいました。

可也山・・・糸島富士とも呼ばれる秀麗な山。365m と低山ながらも侮るなかれ、海拔0mからの登山は、久しぶりに参加する私にとって、急登で階段の連続は苦しかった。

二丈岳・・・こちらもハードではあったが、家族ハイキングの趣があり、幼稚園児か小学生くらいの子供連れグループもあり、ほほえましかった。

二つの山とも途中の展望は無いが、山頂はパッと開けて眼下の眺めはすばらしかった。また、ハプニングがいくつかあったが、そこは遊び上手(?)なオレンジのメンバーのこと、見事にクリアして何事もなく帰諫した。



まずは1座目・可也山に登頂
ギタリストさん達もいっしょに

ハプニング1・・・可也山へのルートで、浜玉有料道路の降車地を間違え、二つも先まで走ってから折り返す。目指す師吉(もろよし)公民館に至るまでが相当手間取った。

ハプニング2・・・乗ってきたバスが故障してしまった。幸い、我々は下車して可也山登山中の出来事で、運転手の電話でそれを知る。修理が終わるまでの時間を、早めの昼食とロープワーク、さらにミニコンサート(後述)にあてる。

ハプニング3・・・嬉しいこと。以前オレンジニュースで紹介されていたギター片手に登山する男性(外山さん)と偶然一緒になり、そのグループ3名と共に登った。昼食後は、外山さんのギター伴奏でミニコンサートとなり、楽しい一時でした。

ハプニング4・・・帰りの車中での乾杯用ビールは、平尾レンタル様からの差し入れ。ご馳走様でした。

トラブルの時は無理しないという原則通り、三つ目の山「十坊山」は登らなかった。登りたいという希望者もあったが、時間的に無理だった。私の足が遅いのが原因の一つかと反省しきりです。ごめんなさい。



納骨堂でのライブ。坂口さん独唱♪

後日談：私はあの山行の2日後、平尾レンタル井上さんが運転するマイクロバスを利用する機会があった。その時の談によれば、たまたま井上さんが、スポーツ大会参加のお客さんを乗せて唐津方面に行っていた。待機時間が午後4時までだったので、それまでには修理が終わるだろうと予想して、車を交換し、我等が運転手はとんぼ帰りで待ち合わせ場所の公民館前へ、井上さんは修理後の車でお客さん

を乗せて帰ったそうです。双方丸く収まってよかったですね。(田中紘子 記)

5月25日(金)

諫江88ヶ所巡り

(参加者) 小山・佐藤・佐原・松園・中村・林・林田・山口 (7名)

(感想)

本日は小雨模様ではあったが、午後からの天候を期待して、9時出発。全行程歩きの、諫江88ヶ所巡りは第2回目である。近くの本明川沿いを上流へ向かう。上諫早小学校横を通過し、10番札所へ到着。大きな忠魂碑が目についた。線香、ろうそくを供えてたどたどしい般若心経を2,3名で唱えた。日の出地区の47番札所へ向かう途中、木工芸工房に立ち寄り、作品を見せて頂く。「趣味で作製している」との事であるが、素晴らしい作品で、しばらく観賞する。近場と軽くみていたが、9番札所では昼近くになったので、熊野神社の軒先をお借りして昼食を摂る。目代川沿いの田畑は、以前は、段々畑に彼岸花が沢山きれいに咲いていたが、今は、大規模に整備されて、新しく、広い土だけの畑に変わっていた。4番札所付近はミカン山だったらしいが、今は放置されて荒れていた。ここからの眺めは、諫早の一部が良く見えて、気持ちが良い。5,3,2番札所と、破籠井方面を歩き、真崎川沿いを下ると4時。7ヶ所の札所を巡り本日の行程終了。

3万歩近く歩いたとの歩行計記録の人も居て、普通の山行より疲れたとの感想もあった。(中村かずえ 記)

5月27日(日)

鬼ヶ鼻岩(840m)獵師岩山(893.4m)

(参加者) 川原、中須賀、小山、久保(元)、久保(陽)、佐原、林、森、中村、山下(10名)

(行程) 西諫早駅前8:10—長崎自動車道—佐賀大和 IC—三瀬井手野公民館—椎原峠(西) 登山口9:15—鬼ヶ鼻岩頂上着9:30—獵師岩山着11:25—昼食—下山—登山口着13:00—水場探検—椎原峠まで歩く。—やまびこ温泉—佐賀しょうぶ園—佐賀大和 IC—諫早着17:20

(感想) 皁月晴れの下、快適な山行となりました。三瀬村井手野の登山口には10時着。出発10時40分のところを10時10分発となり、27分には鬼ヶ鼻岩に着いてしまいました。辺り一面新緑の森。はるか遠くにドームも見え、巨岩に乗って写真撮影。申し分がない山行です。久しぶりにお会いするオレンジクラブの諸先輩のみなさまお元気で、お顔の色艶もよく「医者いらず」のオーラを発散されていました。



さて、少し長めの休憩を終え、獵師岩に向けて歩き出して20分ぐらい経ったころでしょうか。先頭を歩かれていたYリーダーからほとんど悲鳴に近い叫び声が上がりました。なんと、マムシが山道の中央でどぐろを巻いているではありませんか。あのような声を発した

Yさんは初めて見ました。いつもは男顔負けの言動で「しきっている」あの方もやはり女性でした。わたしは男ですからそこはいいところを見せるべきでしょうが、なにぶんマムシを見たのは初めてです。目の前のマムシが今にも飛びかかってくるようで、マムシ退治のベテラン川原さんにおいでいただき、見事退治していただきました。それから10分と経たないでまた山道脇にマムシがいて、情けないことにまた、川原さんをお願いしました。

それから11時25分には無事獵師岩に着きました。そこで日差しを避け木蔭でお昼ご飯を頂き、マイクロバスが待つ登山口に向けて下山しました。予定より早く着いたので椎原峠



まで往復したり、登山口近くの水場を探索したりしてゆっくり過ごしました。

術後の方も二人いらっしやって、そのことに配慮された山行だったのでしょう。かたわらに咲く花も鑑賞でき、無理なくゆっくり楽しむことができました。

バス乗車後は温泉に入ったり菖蒲園の出店をひやかしたりして過ごしました。帰りのバスはいつものように歌声居酒屋になり刺身(なんと三瀬のコンビニにありました。)やちくわを肴においしいビール・お酒をいただきながら山行の疲れをいやしました。また、紅白歌合戦に出場できるほどお声が透き通ってお上手な歌を聞かせていただき、楽しい一時を過ごすことができました。高速を利用して17時過ぎには無事我が家に帰ってくることができました。お世話をされた方に感謝申し上げます。ありがとうございました。(久保元治記)

6月3日(日)

平治岳(1643m)

(参加者) 鎗水、下釜、中須賀、金丸(勝)、福岡、松園、山下、高森、中里 9名
(行程) 西諫早駅 6:30～金立 7:22～九重 IC 8:30～9:30 男池駐車場スタート 9:45～かくし水～10:48 ソババツケ～休憩～11:53 大戸越え昼食 12:23～登山開始～12:48 平治岳南峰～13:05 平治岳頂上着～下山 13:14～大戸越え 13:48～ソババツケ～かくし水～男池 15:50～男池駐車場出発 16:14～温泉入浴後出発 17:05～金立休憩 18:50～西諫早駅解散 20:15

(感想) 好天に恵まれ、ジャンボタクシーで諫早を出発し、金立パーキングエリアで朝食やトイレを済ませました。ここで買った黒糖饅頭をSさんがふるまって下さいましたが、とってもおいしかったですね。今日1日の元気を頂いた気が致しました。グングン進む高速道路の途中で、路肩にはみ出して黒く焦げた事故車に出会い、今日1日の無事を祈ったのは僕だけでは無かったようです。この日は山開きでしたので、多くの人出が予想されるだけに安全登山にはいつも以上の気配りが必要です。

九重インターを降り、「九酔溪」や「夢の大吊り橋」を経て、男池駐車場に着きました。既に、100台余りの車が駐車しているのに驚き、山の人気の高さを感じ取りました。準備運動や磁石合わせの後、スパッツも装着して環境協力金1人100円を支払って入山しました。

清掃や登山道の整備などに力を尽くしておられることを考えると、このような形での費用負担も当然だと思えます。

木漏れ日があり清流の音が聞こえる中、コナラ、ブナなど背の高い樹々が程よい感覚で並び、岩には苔が見られる素敵な道を辿って「かくし水」「ソババツケ」を目指しました。程よく疲れを覚える頃に休憩となり、Mさんから梅酒の梅を頂き元気百倍しましたが、美しい苔に見とれて歩いていてコケそうになりました。「大戸越え」に着くと、またまたSさんからザボン漬けを頂き力が湧いてきました。



久しぶりに参加されたK氏

三俣山や硫黄山を懐かしく眺め、温かい日射しを浴び、涼しい風に癒されながらの昼食を終え頂上に向けて出発しました。途中、流れる霧を横切って歩く尾根筋、人が多くて譲り合いにくい場所、木の枝に阻まれて進みにくい道がありましたが、コイワカガミやマイズルソウを教えて頂きながら1643メートルの頂上に着きました。ミヤマキリシマやイワカガミに励まされ、岩や木の根に掴まりながら登る急坂では「きついなー」「休もうか」と思うこともありましたが、頂上で「来て良かった！！！！」と万歳する思いに包まれました。満開のミヤマキリシマの眺めが目の前や眼下に広がっているのに出会い、疲れも吹っ飛びました。参加メンバーを見て参加を躊躇ったけど、いつか、どこかで乗り越えなければ、このような絶景は拝めないんだなーと実感したひとときでした。

一通り眺望を堪能した後は下山を開始しましたが、充実感で意気揚々の帰りは、たっくさんの人が並んで降りていて、アリの行列のようにノロノロと進むものでした。



またまたギター青年達と遭遇？(*^_^*)

千客万来と言われる富士山登山もこんな調子なんだろうか？と思ったほどです。軽い休憩を取り、再び下山して「おおとごえ」に着くと、なんと其処にはギター青年？率いる男女4人のグループが我々を待っていたかのように、出くわしたのです。登山中に「今日はさすがに来てないねー」と言いながら登ったのが信じられないような出会いでした。別れを惜しんで下山を始め、休憩

をはさんで「かくし水」での水汲みをして、「男池」へ下り周遊しました。

「男池駐車場」をスタートし、温泉入浴を済ませてから諫早に向かいました。金立で休憩した後、西諫早駅で解散しました。

素晴らしい山行を計画し、安全にリードしてくださった方々、本当にありがとうございました。

「山開きミヤマキリシマ花の海」

(中里利行 記)

6月8日(金)～12日(火)

佐渡島・花トレッキング

(参加者) 川原 福岡 小山 鎗水 中里 佐原 林 田中 下釜 田村 中村 森 松園
岩永清子(元) 立川房枝(外) 田口紀男(外) 計16名 運転士:井上・伊藤
(行程) 6/8: 諫早発 7:30～九州自動車道～山陽自動車道(昼食: 玖珂PA)～名神高速(夕食: 大津SA)～北陸自動車道～新潟西IC～新潟港着(6/9) 1:50
6/9: 新潟港 6:00～8:30 両津港～9:30 ドンデン山荘 9:45～尻立山～ドンデン池～アオネバ十字路～14:00 アオネバ登山口 14:20～15:00 みなみ旅館(泊)
6/10: みなみ旅館 8:00～8:45 二つ亀～海岸遊歩道～大野亀 12:00～入崎海水浴場 12:40～13:30 佐渡金山～14:00 相川ガイド散策～16:45 民宿敷島荘(泊)
6/11: 敷島荘 8:00～佐渡歴史伝説館～小木たらい舟～矢島・経島～海運資料館見学～小木家(昼食)～13:00 宿根木散策～大佐渡スカイライン～17:00 両津港(夕食・買い物) 19:30～22:00 新潟港～三条燕IC先バス停で田口氏と別れ～北陸自動車道～
6/12: ～名神高速～山陽自動車道(朝食: 龍野SA)～(昼食: 壇ノ浦PA)～九州自動車道～15:00 諫早着

(感想1) 佐渡、夢にも思っていなかった佐渡島に、行けてよかった。静かで素朴な町並も人情みもあり草花も沢山見ることが出来ました。又、昔の町並歴史にも触れ合えて自然豊かな島だなと思いました。楽しい登山の旅でした。初日の雨が残念でしたが、～、それも又思いでになり、楽しい山行ができてよかったです。一緒にいけた皆さんお疲れ様でした。

(下釜 記)

(感想2) バスでの佐渡島までの旅。・・・普段、飛行機での旅が多い私はどの位大変かも考えることなく軽い気持ちで申し込んでみた。

佐渡について何の予備知識も持たずに参加したから全てが新鮮に目にとびこんできた。一番感動したのはキバナカンゾウの大群落が私達を迎えてくれたこと。折しもカンゾウ祭りが開催されていた。

金山散策、宿根木の町並み散策など全てが初めて見る景色でこれからの生活に元気を養った気がした。

来年もまた、オレンジでバス旅行を計画して頂きたいです。計画して下さった方、会計さん、テキパキと動かされて感心しました。本当にお世話になりました。(田村満子記)

(感想3) 花の島「佐渡」で花トレッキング！！に参加出来た。6月8日、梅雨入りの長崎を出発。

佐渡へ佐渡へと草木もなびく……。長崎から佐渡へは、やはり遠い。島内のドンデン高原では、沢山の山野草の発見に歓喜の音が飛び交う。黄色いカンゾウの花にまぶされた小山と青い海とのコントラストは、今回の旅の中でも大きく印象に残る映像。圧巻の千石船「白山丸」にも目を見張らされた。本物の和船である。先人の技術を後世に残すべく造られたと感じさせられ、島の船大工の誇りを感じた。所変われば、何とやら、自動販売機自身が大阪弁で「おおきに。」とか「気を付けてお帰りなはれ。」とかを喋るユニークな自動販売機には、腹を抱えて大笑いさせられ、楽しい思い出に色を添えてくれた。(中村かずえ記)

(感想4) 佐渡の計画が持ち上がった時、即行きたいと思い、会社、家族に我儘言って参加したが、やはり行ってよかったと思った。諫早から佐渡までの18時間のバスの旅に不安はあったが、思いの外きつくなかった。

初日は雨のため、行程変更もあり、花をゆっくり楽しみながらのトレッキングとまではいかなかったが、「シラネアオイ」をはじめ色々な花々と出会えた。賽の河原を歩き、佐渡金山で当時の苦労に触れ、精巧な人形に驚き、そして昔の山ガールが私達だったら昔の海ガールの巧みな櫂捌きで「たらい舟」を経験できた。

宿は両日とも地元の新鮮な食材を使ったご馳走に食べきれないほどで、帰ってきたらなんと2^{kg}弱体重が増えていたので慌てて軌道修正した。(笑)

楽しい山行を立案、計画、実行ありがとうございました。(田中 静香記)

(感想5) いつかは行きたいと願い続けていた佐渡は、日本で一番大きい島だとか……行って良かった！と言うのが今の心境で、様々な場面や思い出が今日も臉に浮かびます。

シートや運行など工夫された貸し切りバスでしたが、18時間の移動は疲れました。が、現地での活動や計画変更を考えると、上策なんだろうな一と思いました。

尻立山登山では、ウツギの多さと様々な花が咲いているのを喜びました。また、霧に囲まれてしまいメンバーを見失わないように固まって移動し、避難小屋に入ったのは初めての経験でもあり、怖さと共に貴重な財産となりました。

「雨上がり若葉の森に霧が立つ」

アオネバ溪谷の下りでは、白根葵を始め本当にたくさんのお宝の花々が見れて、滑る登山道の怖さも忘れてしまうほどでしたし、アオネバとかドンデンとかのへんてこりんな名前の由来も知ることができて最高でした。

みなみ旅館の露天風呂は、雨が降っていたので用意された菅笠をかぶって入ったんですが、山法師も咲いていて気分は極楽でしたよ。風呂上がりのビールと牡蠣やカニの料理の美味かったこと。観光旅行かと思ってしまいました。

「山法師チャプチャプ湯音佐渡の宿」

二つ亀から大野亀までの海岸線のウォーキングでは、ハマユウや岩百合やキバナカンゾウ等の撮影にはまる人が多く、今年の写真展の出品数が膨大な量になるんじゃないかと心配したりしました。願という集落では、長崎から来たことを誇らしく婆ちゃんと語り、意気投合して値引きして貰ったり試食品を貰ったりしたのが印象的でした。情にほだされて買った煎餅のお土産は、リュックの中で粉々になって、家に帰ってみると食べられない有様になっていましたが、ほんわかした味はいつまでも残っています。

大野亀では、偶然にも「カンゾウ祭り」に出くわし、この島で初めて人だけを見ましたよ。目の前にそそり立つ大野亀を見ると、咲き乱れるキバナカンゾウよりも登ることに気を取られたのは、いっばしの登山家になった証拠かな？ツルツル滑る坂道を下る時に見た、下れないでいる超体格の良い人を助けるY氏の献身的な姿は忘れられません。後日、聞いたところによると、彼の腕には彼女に掴まり続けられたためにできた痣があるとか……彼女が30代？でなく、老婆であったなら更に感動してたことは請け合いですね。



「カンゾウを励みに登る大野亀」

佐渡金山では、坑道の至る所で動いているからくり人形が、あたかも当時の働きぶりかのように動き、当時の苦難を沸々と想像させてくれました。青年風の教師兼僧侶兼世界遺産登録関係者兼史跡発掘家であるような、ふれあいガイドの語りも声が大きく張りがあって、印象的でした。

佐渡最終日は、歴史伝説館で拉致被害者のジェンキンスさんが基金となる煎餅を売ってたそうですが、気づきもせず他の人から買ったのが残念至極です。

ここの売り物は、やはりからくり人形が佐渡にまつわる物語を演じてくれる物でした。器用に動くからくり人形を見ていて、まだまだ日本は生きていける技術力があるはずだと思ってしまいました。

小木港でのたらい船体験は、待ちに待ったものでした。幸いにも、若くて美人の船頭さんに当たり、体験漕ぎをさせて貰ったり写真を撮らせて貰ったりと、青年時代にかえったような張り切りぶりでしたよ。

宿根木での石屋根、舟材や舟釘を使った板囲いの家の街並み、船大工の街の誇りと彼らの腕を誇示する千石船など思い出は際限がありません。

このように楽しく有意義だった佐渡トレッキングで、ただ一つ残念だった事は、小木港で買った孫へのトキのソックスや嫁への脂取り紙や家族への落の味噌などのお土産を忘れてしまったことです。年はとりたくないですねー。

最後になりましたが、この企画を考案し、交渉や運営に活躍された方々に心から感謝し敬意を表して私の感想文といたします。

(中里利行 記)

(感想6) あいにくの小雨だったがアオネバ溪谷は下りに変更となりおかげでたくさんの山野草をゆっくり見ることができました。初めて見たシラネアオイやヤマシャクヤクの清楚な美しさには感動です。雪割草の株も多くいつか花の時期に行ってみたい。相川や宿根木ではガイド付きで佐渡のいろいろな歴史を垣間見ることが出来とても勉強になりました。計画を立てたり下調べをしてくださった皆さん何事もなく皆無事帰れて感謝しています。ありがとうございました。(森 寿美子記)

(感想7) 九州の西の果てからはるばるマイクロバスでたどり着いた佐渡は梅雨に入った日だった。しとしと降る雨に濡れながらドンデン山に登った。新緑の美しさが目に染みた。

翌日は晴れて大野亀に登った。海に面していて山全体にキバナカンゾウの花が咲き美しい。海は長崎と違って島影ひとつ見えず「海は広いな、大きいな♪～」と感じた。佐渡金山は人形など使ってその当時の採掘の様子を再現してあった。来る日も来る日もこの仕事をした人は時代もあったでしょうが、つらかったらろうと胸が痛んだ。実物大の千石船が展示されていた。狭い船内用に作られた船箆は難破しても海水が入らない精巧さとかからくりがしてあり、日本人の知恵と器用さを感じた。遭難など犠牲を払いながら海に生きてきた。外の文化知識をなど取り入れ流人の島で世阿弥、日蓮、順徳天皇などが流されその影響を受け佐渡の文化はなりたっている。

(林 孝子記)



(感想8) 佐渡の山は残念ながら雨で展望は良くありませんでしたが、沢山の花を見る事ができて満足でした。二ツ亀海水浴場から海岸伝いに大野亀まで4キロ歩きました。二ツ亀と名のついた海に浮かぶ巨岩、透きとおった海と雄大な景観、足元には沢山の花が咲いて私達を楽しませてくれました。途中には賽ノ河原の洞窟があり幼くして死んだ子供の冥福をいのる10cmほどの地蔵さんが無数に祭られています。

大野亀にはキバナカンゾウの花が咲き乱れていて感激。

佐渡金山、当時の採掘の様子が実物大の人形で再現されていた。来る日も来る日も暗い穴の中で働かされて哀れに思った。佐渡奉行所のある相川地区をガイドさんの案内で散策し、より深く知る事ができた。

たらい船体験は楽しかったが、乗っている時間が短かったのもものたりなかった。

「千石船の里」宿根木の町並みをガイドさんの案内で散策しその時代の家屋を見たり暮らしぶりを聞いて町の歴史を感じました。復元された千石船の大きさにビックリ、昔の人はすごいと思った。

佐渡といえば金山とトキだけかと思ったら自然も美しいが歴史あり文化ありで感動しました。行って良かった！！ (福岡 正廣記)



6月15日(金)

五ヶ原岳クリーンハイク

[参加者] 岩永、川原、小山、佐藤、田村、中須賀、林田、兵庫、福岡、鎗水、金丸、佐原、坂口、林、松園、山口、山下、中村、中里 (19名)

[行程] 8:00 西諫早駅を自家用車で出発～8:55 五ヶ原岳頂上でゴミ拾い開始～10:00 仏の辻登山口に向かい下山しながらのゴミ拾い開始～10:55 仏の辻登山口で解散

[感想] 「晴れ男」と自認していた僕の願いも空しく、佐渡に続いてクリーンハイクも雨となりました。潔く「晴れ男」を返上します。ということで、諫早少年自然の家入り口から登山しながらのクリーンハイクを急遽変更しました。一気に頂上まで分乗した車で行き、その周辺のゴミを収集する事にしたんですが、異論も洩らさずに取り組んで下さった会員の皆様に、ただ感謝です。

ゴミは思いのほか少なく、成果に乏しく、雨もしのげないほどではなかったのですが、仏の辻登山口まで下山しながらのクリーンハイクを追加でお願いしました。これも又、何の抵抗もなく受け入れて頂き、クリーンハイク1年生で自然保護部長1年生である僕を支えてくださった皆様に、心の中で手を合わせましたよ。こんどの例会に、川棚饅頭かカリント饅頭を差し入れようかな？



それにしても、伝統ある「オレンジハイキングクラブ」の教えは抜群で、「誰がリーダーであろうとも、リーダーの指示には従うこと」というのが、脈々と生き続けていることが認識できましたよ。「船頭多くして、船進まず!」というのは、オレンジの辞書には無いんですよね。

この日の成果は、終了間際に大量のゴミを探し当てて下さった方の熱心さもあって、ガラス瓶等が 2 kg、空き缶等が 4 kg、燃やすゴミが 15 kg でした。収集した

ゴミ袋の前で記念写真を撮るのにも格好がつかしましたね。聞くところによれば、近年にない収集量とか……皆さん、御協力ありがとうございました。

反省点としては、乗車グループや下山グループを希望制にしたため、メンバーの動向を十分に把握できなかったこと、その場その場で計画に変更が生じすぎたこと、部長の責任感が薄くて実施までの段取りを中村副部長に任せっきりだったことなど多々あります。また、励ましや要望も受けましたので、これからの自然保護部の活動や山行計画に活かしたいと思います。(中里 記)



二丈岳にやっとたどり着きました。

山旅・福岡色んな事があった。5/13



納骨堂でなぜかロープワーク???



山旅・佐賀まむしが2匹もでたよ!!





キバナカンゾウとハマナス

佐渡
花
物語



シラネアオイ



6月3日 九重男池 岩を抱いている大ケヤキ

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 原稿送付先	山下ちず子
発行年月日	2012.6.27
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.web.fc2.com/

おれんじニュースを編集すると、山行を二度も楽しめます。皆さんの感想や写真をながめながらこんな事があつたなあと、再認識します。楽しい作業です。今回佐渡の原稿携帯で頂いた方が何人かおられます。どんな方法でも受付ますよ。(^-^)